

4 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	佐溝	参加 メンバー	CL 佐溝直彦 油井武 三矢十三四: 竹内幹雄
		報告日	4/10		
山城	美濃・各務原アルプス	山行日	2018 年 04 月 08 日 (日)		
山名	明王山・金毘羅山				
山行目的	来春の例会下見		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

目安の建造物
猿啄 (サルバミ) 山: やぐら
明王山: 電波塔
迫間 (ハザマ) 城跡付近: 赤・白の TV 塔
迫間不動には駐車場やトイレ売店あり車で入れる
1/2.5 万地形図:

天候: 晴 6~10°C
タイム:
大府市 7:05 発
猿啄山登山口 8:15 着
登山開始 8:40
猿啄山 9:11-:20
明王山 10:15-:25
金毘羅山 10:38-11:15
(下山道を間違え 30 分ロス)
休憩小屋 11:55-12:30
迫間城跡 13:35
明王山 14:15-:30
猿啄山 15:17-:25
下山口 15:50 着
下山口発 16:05
大府市帰着 17:35



〈山行報告〉来春の例会候補を探して近場の山として岐阜の各務原アルプスを訪れた(例会と同時期の下見によりツツジ等の開花具合を確認したい)。登山口は数か所あるが猿啄山を通る右回り巡回ルートで下見した、前日に寒冷前線が通過し一気に冬へ弱戻りお陰で汗をかかずに歩ける、晴れてはいるが美濃の山々は雲の中で眺望は期待薄。ラジオ体操で体をほぐし登山開始、1ピッチで猿啄山展望台へ・期待通りの展望だ足元の日本ライン・美濃加茂の街並・鳩吹山・残念ながら笠置山が少し見えるだけで恵那や御嶽は雲の中。登山道は始め 20 分ほど急階段であったが他は小石交じりの普通の山道。新緑の萌黄と優しい感じの三つ葉ツツジ、白いヒカゲツツジ、山桜が癒してくれる気持ち良い春の山路。明王山は 360 度の眺望の最高のビューポイント、木曾川の川筋・濃尾平野や遠く名駅のビル群など見飽きない、但し御嶽や能郷白山など雲中で次回のお楽しみ。一投足で金毘羅山、ここからは西へ下るべき所迂闊にもうぬまの森方面へ踏み込み、結局引き返す失態で 30 分タイムロス。落ち葉の多い急な下りとなり気付く・反省は下山時「進むべき方向・ルート標識確認」の基本を守れば防げた事。峠の辻から大岩展望台への往復 (50 分) は予定時間が過ぎていたので止めた、迫間城跡へ登り返した頃には高賀山が漸く姿を見せてくれた。明王山で今日 2 度目の眺望を楽しみ、下山路は初めての北ルートは止めて、時間も短い往路の猿啄山経由とした、ツツジを愛でながらも小石で滑らないよう慎重に下り無事下山。

来春例会の案は所用時間・ルートの設定・トイレ・駐車場等判断の上今は
迫間不動がイチ押しかなと感じた。今後 1 年かけて皆さんの意見も聞きながら最適な例会案を作りたい。
アクセスは距離は多少長いが流れの良い名古屋高速~R41~R21 で美濃加茂市経由がよい (特に今日は犬山祭であり犬山や各務方面を避けた)



確認
(リーダー)
佐
18/04/10
溝
作成
(報告者)
佐
18/04/10
溝

〈リーダー所見〉
行動時間が 7 H で予定より長くなったのは猿啄登山口から明王山を過少に見積った点と金毘羅山でのロスタイム発生、ビューポイントはどうしても滞在時間が多くなりがち (但し楽しめるので良い事だが) 計画に反映したい。花と新緑が良い時期で・狙い通りでした、同行者に感謝です。